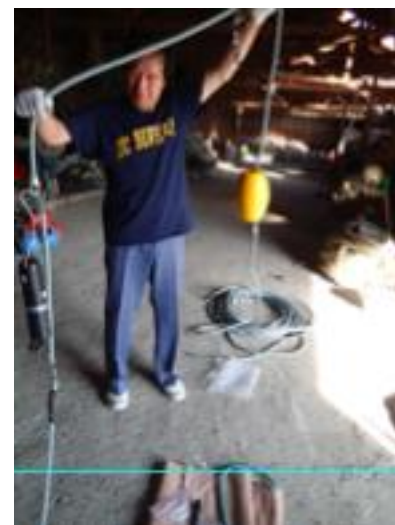




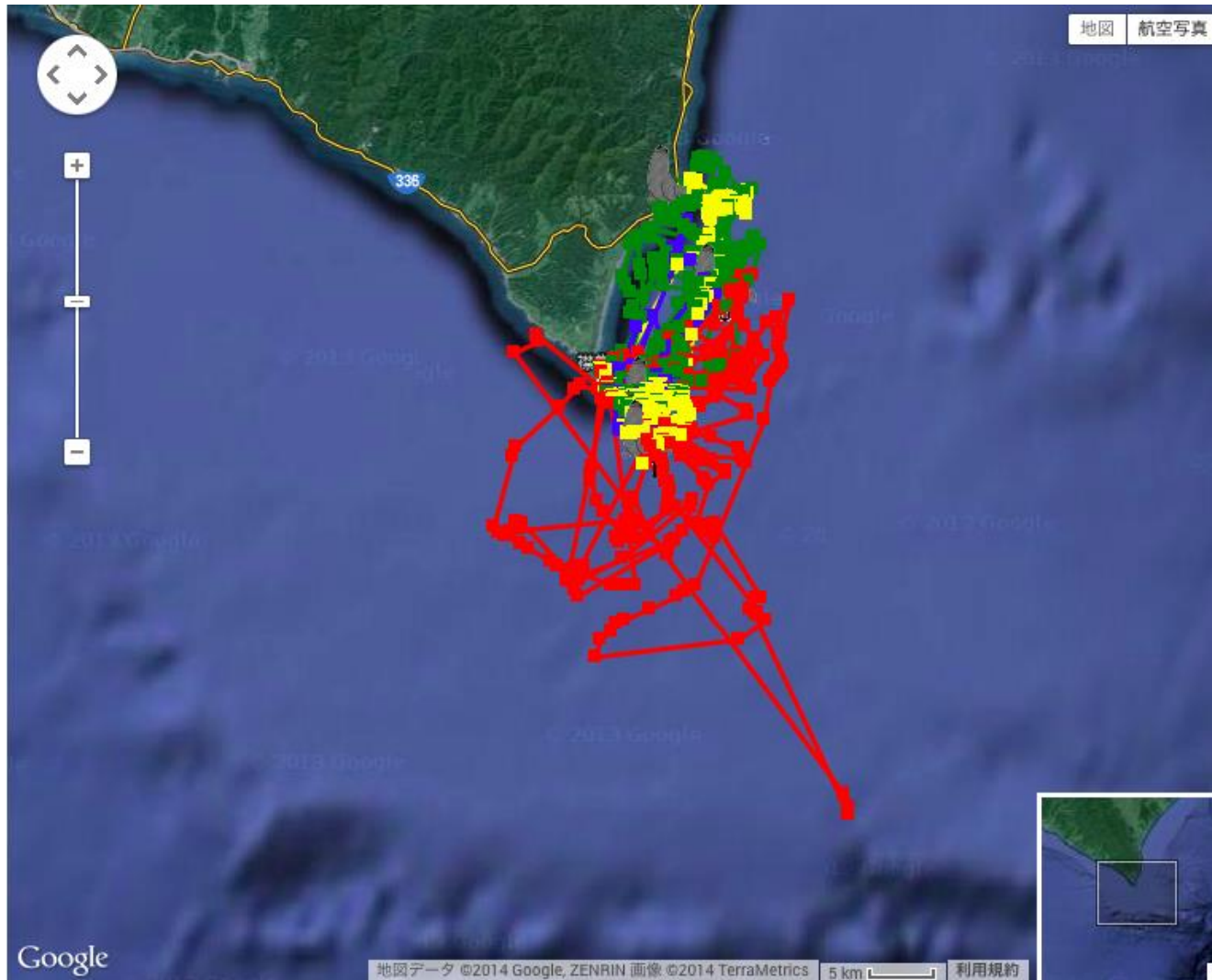
# 飼育および野生環境下における 個体の採餌行動解明

北方生物圏フィールド科学センター

三谷曜子



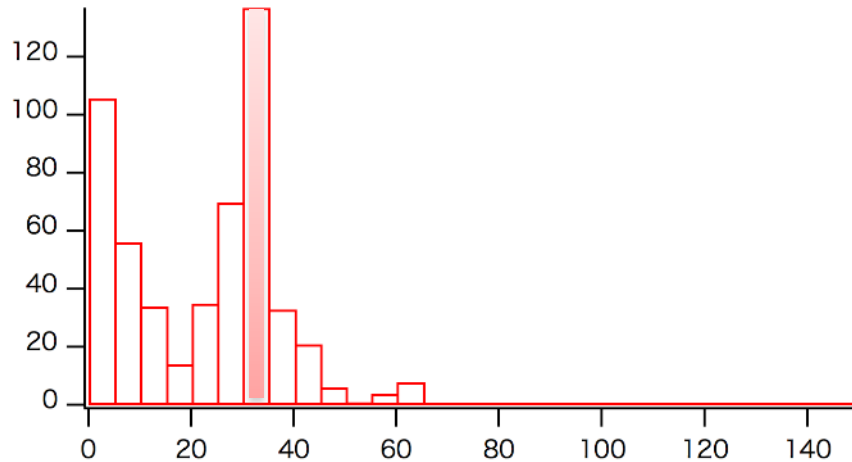
# 衛星発信器による追跡



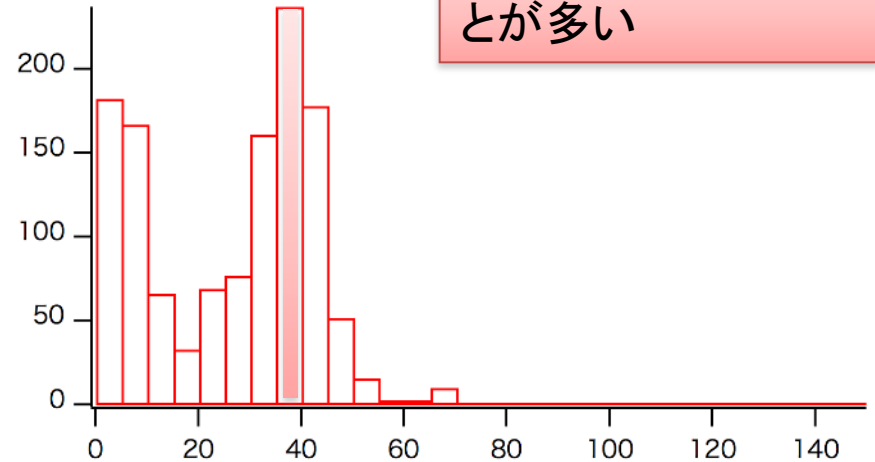
- 140822-1
- 140904-1
- 140905-1
- 140906-1

# アザラシの潜水深度

EZ140822-1

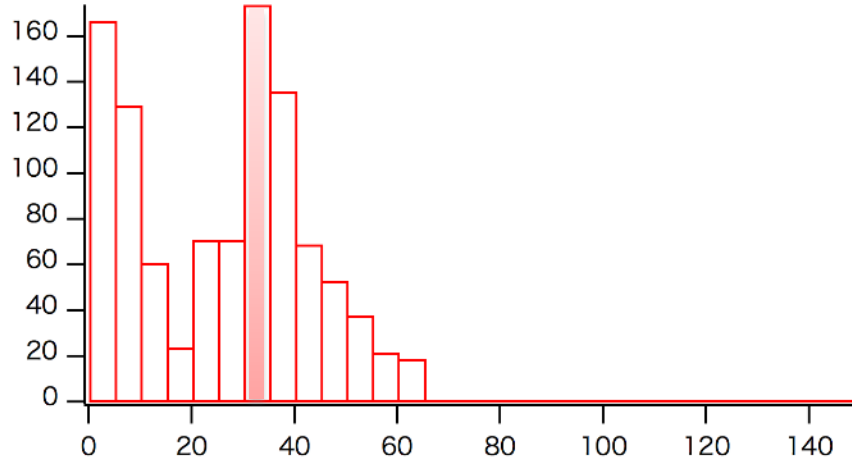


EZ140904-1

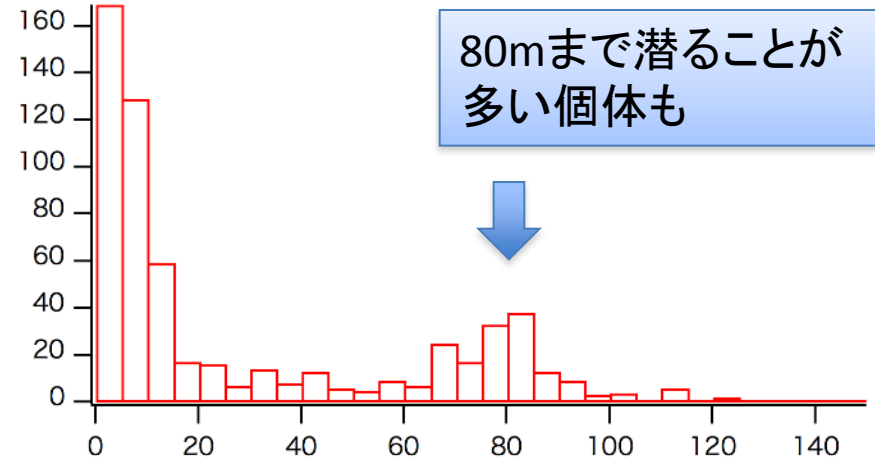


30-40mまで潜ることが多い

EZ140905-1



EZ140906-1



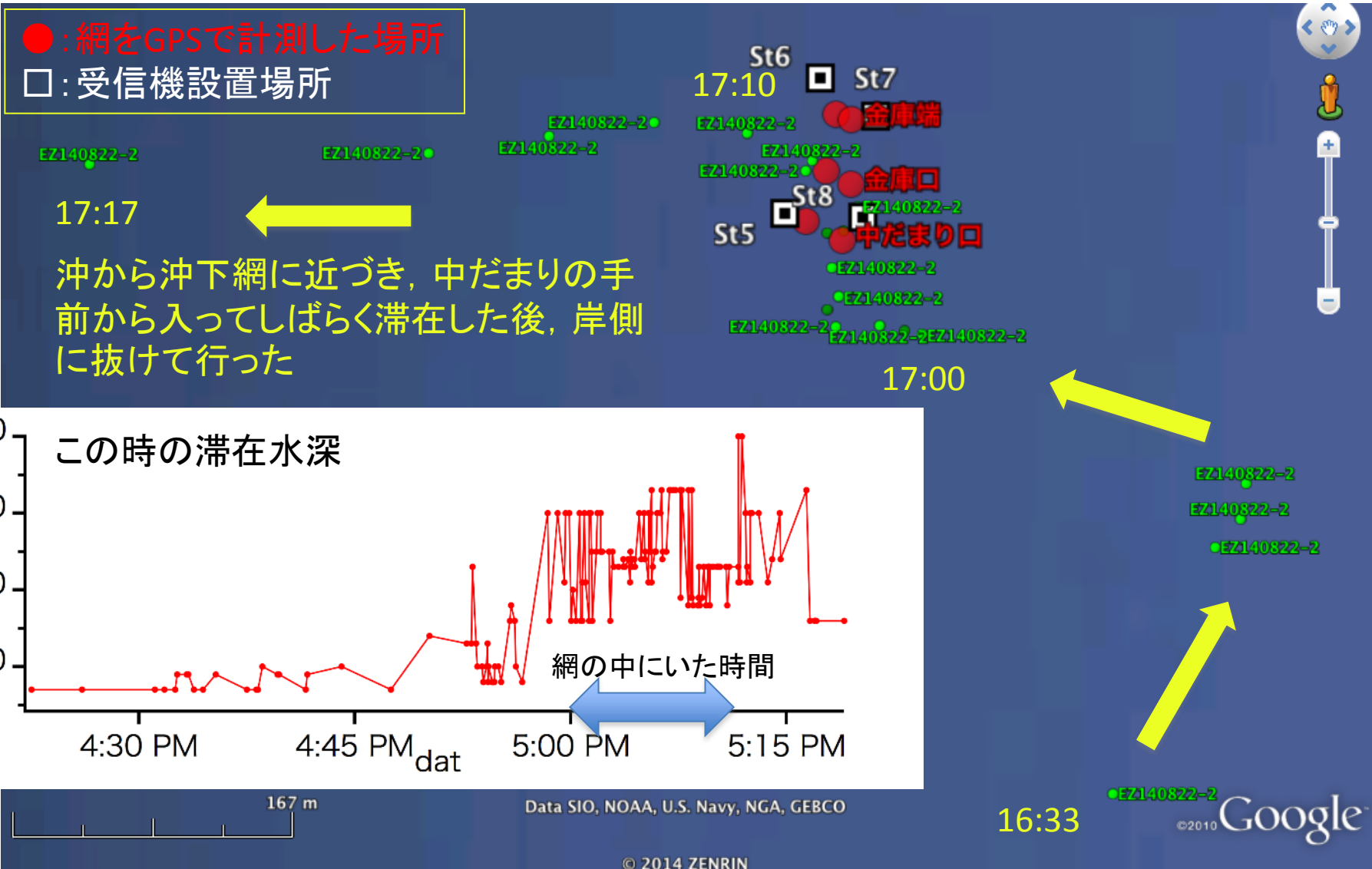
80mまで潜ることが多い個体も

潜水深度(m)

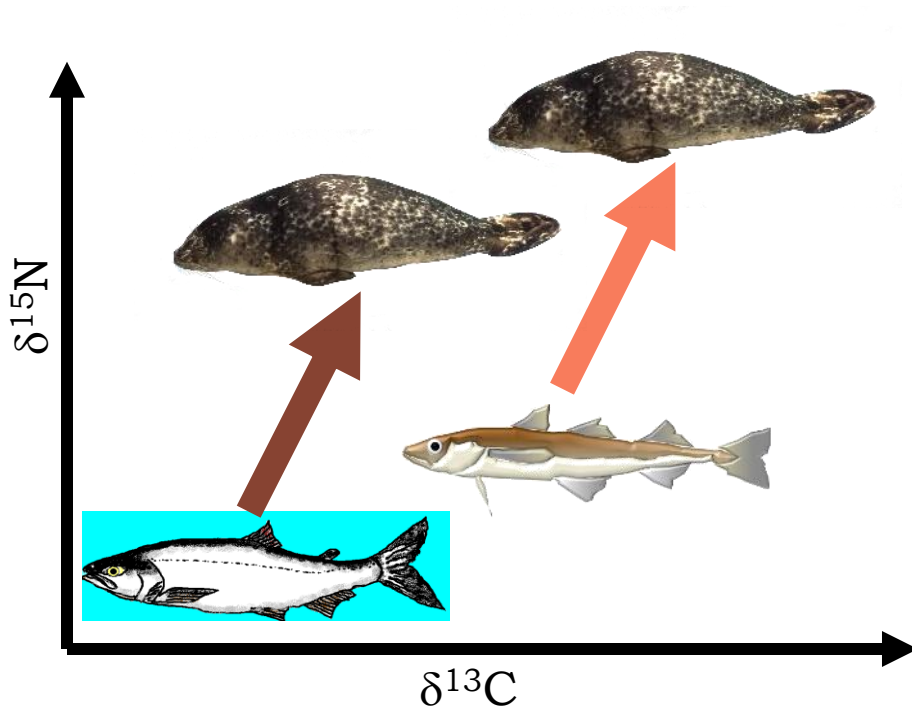
# 音響発信器による追跡



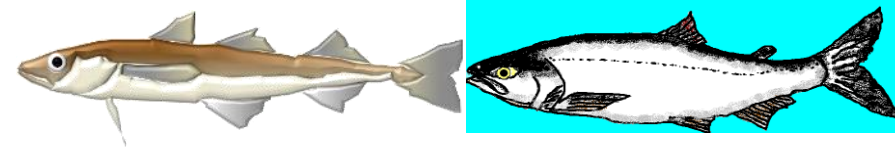
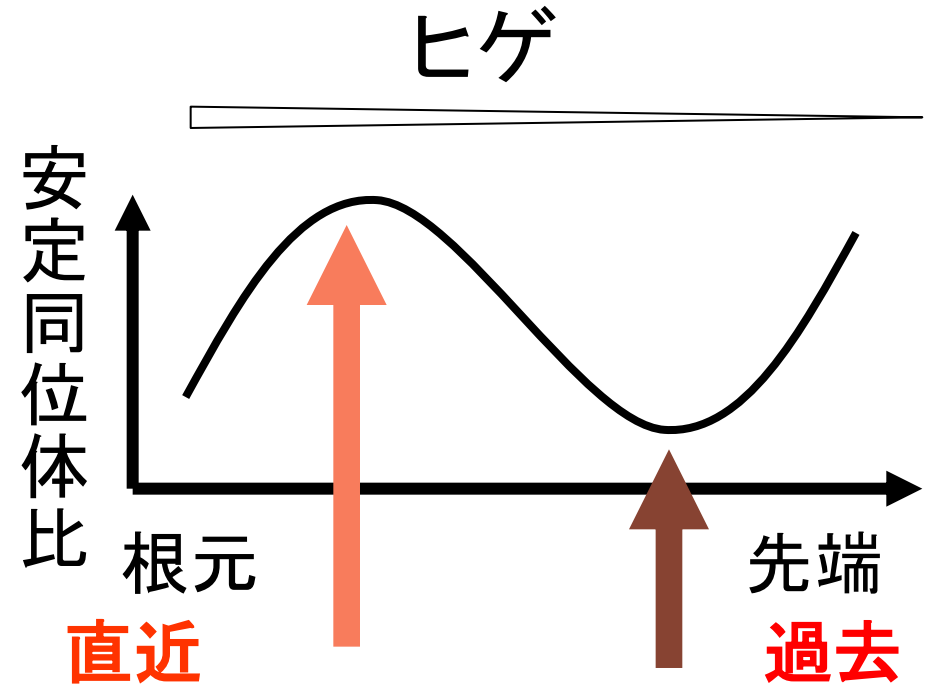
# 2014/11/4 EZ140822-2



# 安定同位体分析



サケやスルメイカは低く、スケトウダラなどの底魚は高い値を示した。

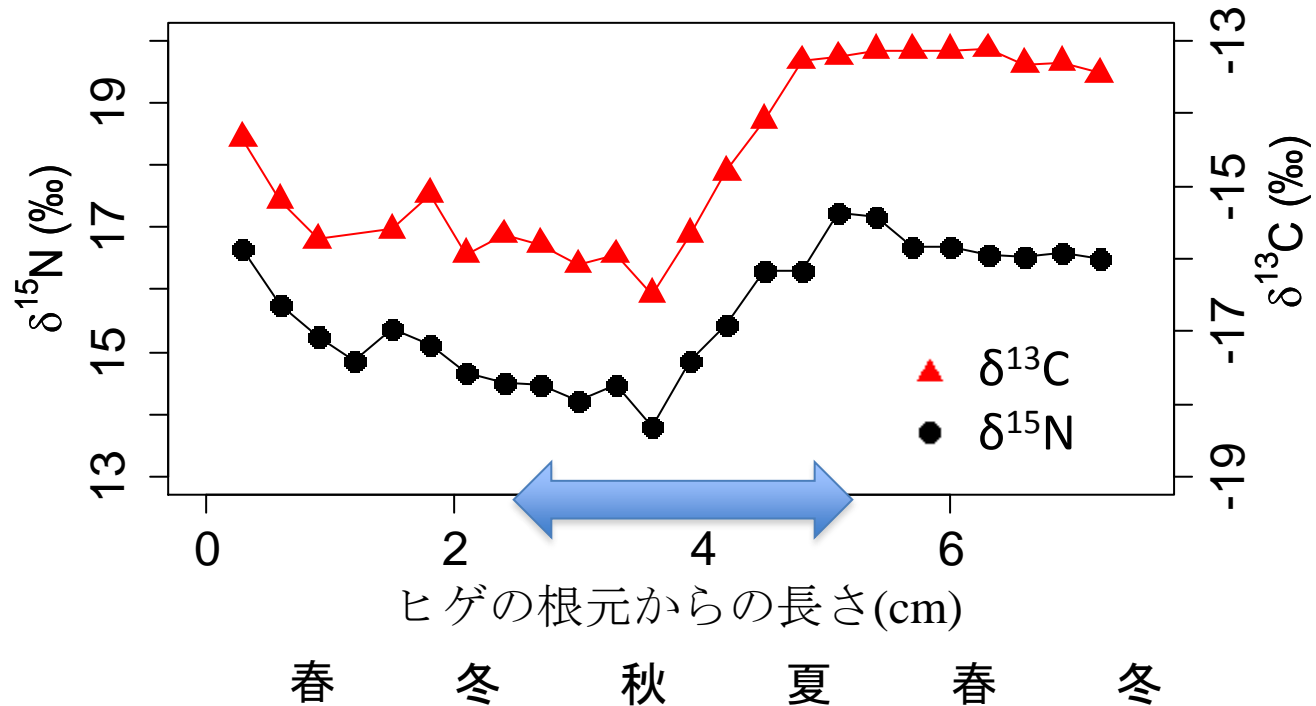


ヒゲを分析して、低い値が見られれば、過去にサケかスルメイカを食べていた可能性がある。

# 野生個体のデータ

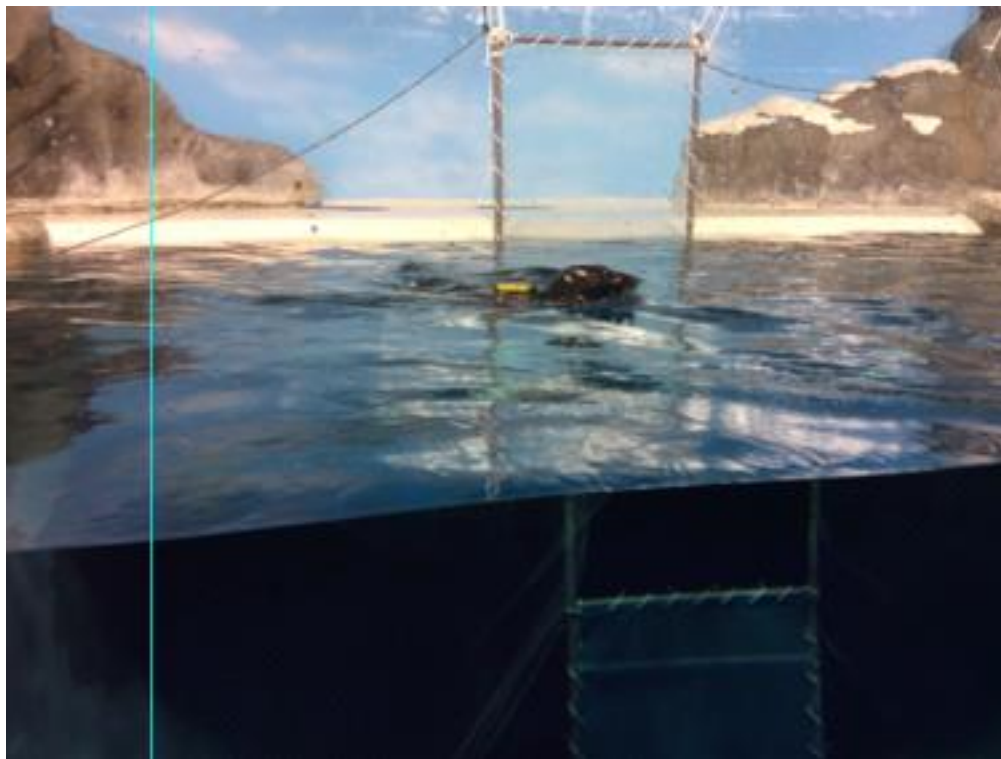
EZ1305

2013.6.29  
ヒゲ採取



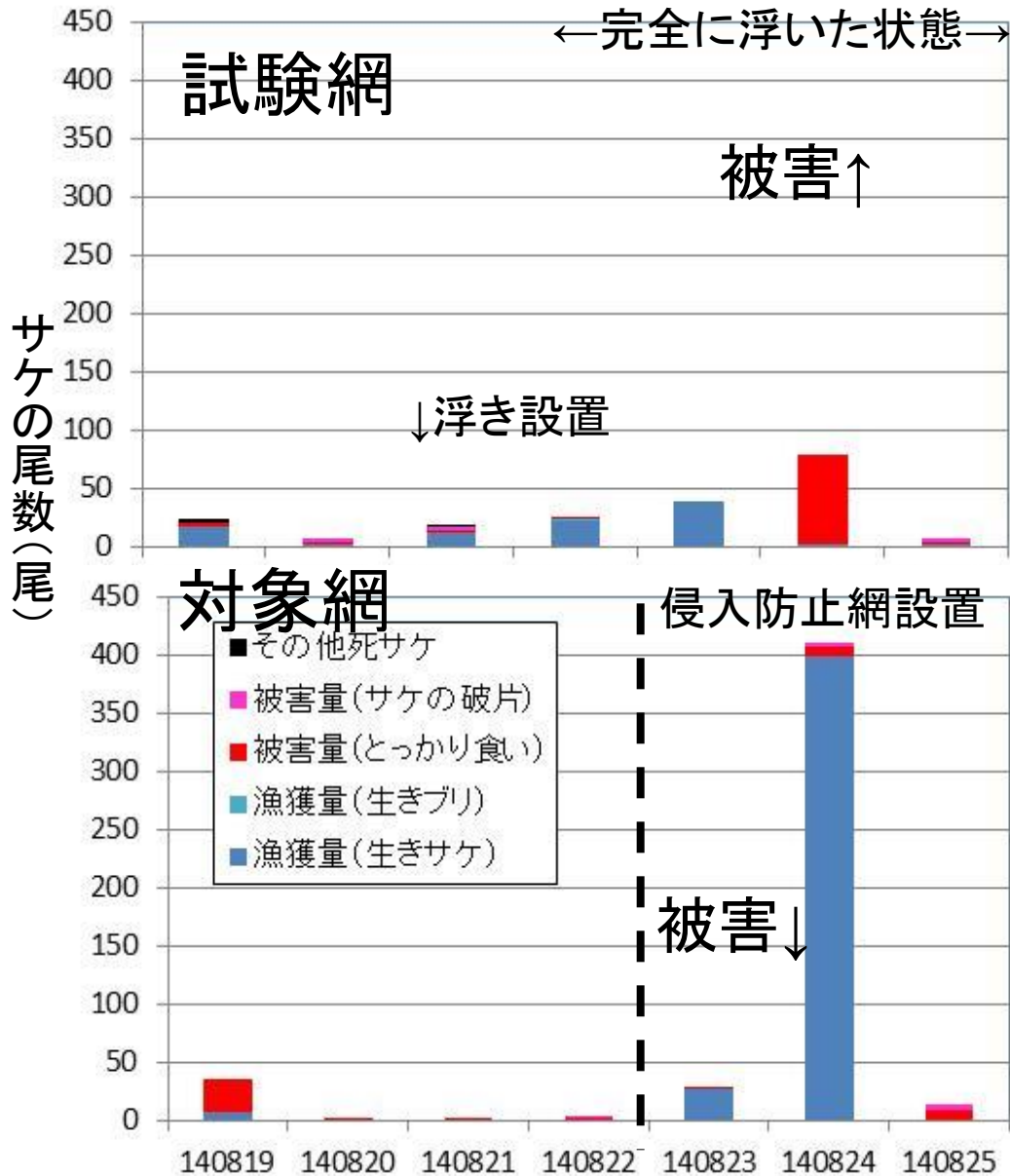
夏から秋にかけて、低い値の餌(サケかスルメイカ)を食べていたのではないか？

# 防除網実験@浅虫水族館





# 漁獲量と被害量(8月)



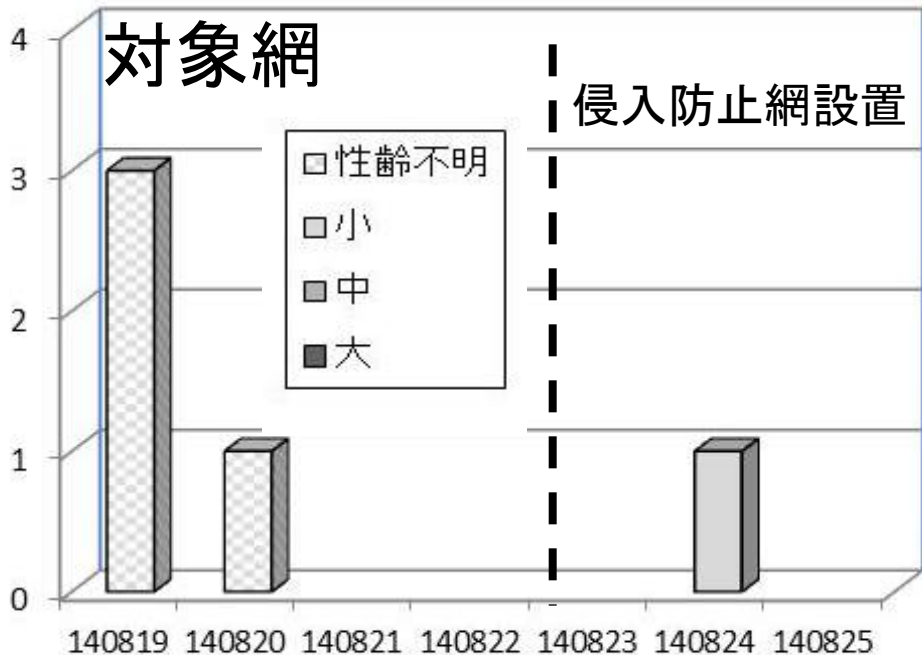
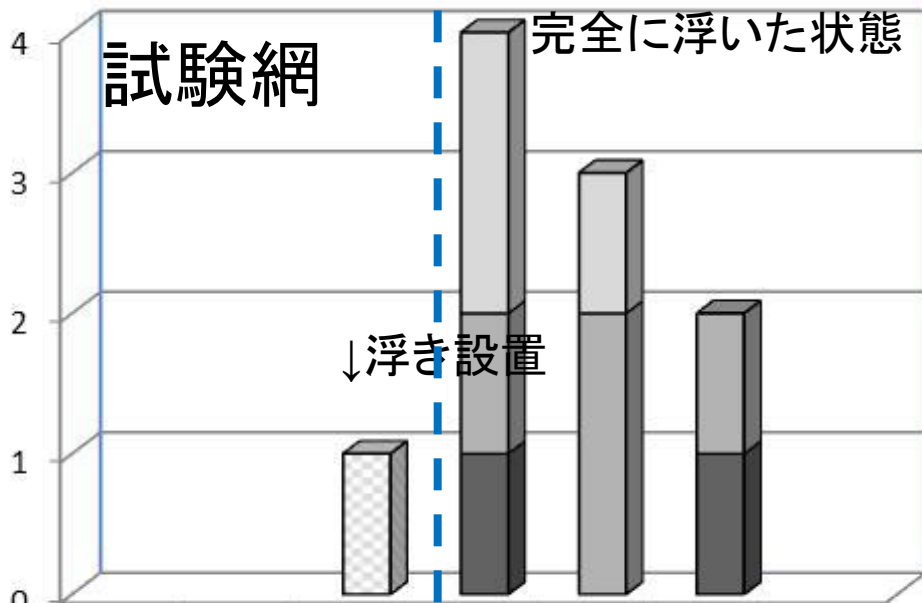
試験網が浮いた状態後、被害が増加

対象網に侵入防止網設置後、被害減

※今年のような水温が低くマンボウが少ない時にスリットは有効か

# 目視調査結果（生きて逃走したゼニガタアザラシ）

1日あたりの目視頭数（頭）



1日あたり目視頭数（頭/日）

8月 19～25日	9月 1～9日	10月 1～7日
2.71	1.00	0.29

↓1か所のための試験操業のため  
集まったのでは？

今後：本操業前に集中駆除は？

数個体，個体識別に成功

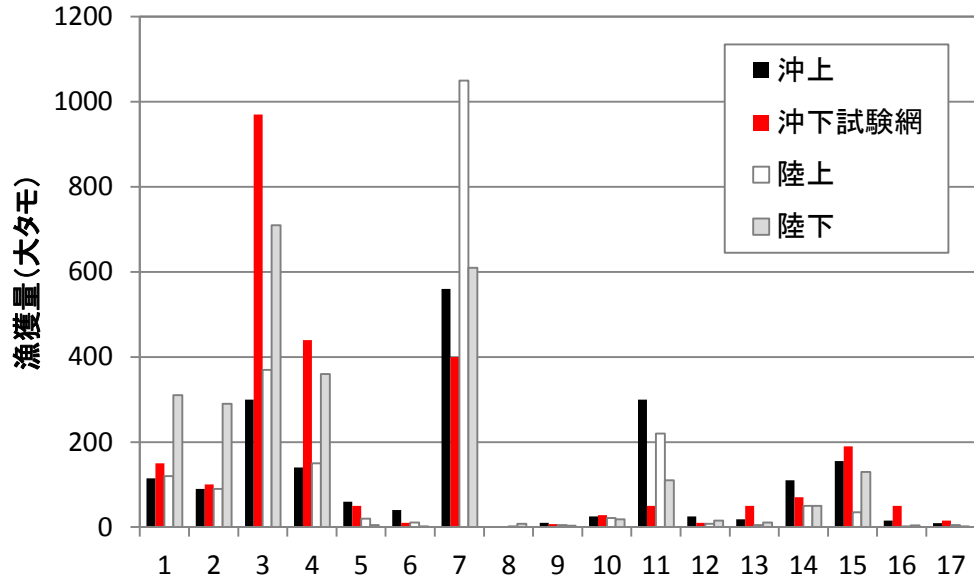


22日に逃げたが、25日に捕まった

今後：個体管理につなげる

11月

# 各網の漁獲量



# 各網の被害量(匹)

